



2021年2月26日

各位

会社名 帝人株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 鈴木 純  
(コード番号 3401 東証第一部)  
問合せ先 IR部長 鳥居 知子  
(TEL 03-3506-4395)

2型糖尿病治療剤「ネシーナ<sup>®</sup>錠」、「リオベル<sup>®</sup>配合錠」、  
「イニシンク<sup>®</sup>配合錠」、「ザファテック<sup>®</sup>錠」の日本における販売移管、知的財産権実施許諾  
及び製造販売承認の承継に係る資産譲渡契約の締結に関するお知らせ

当社は、当社及び当社の子会社である帝人ファーマ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:渡辺 一郎、以下、「帝人ファーマ」)が、武田薬品工業株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長CEO:クリストフ・ウェバー、以下、「武田薬品」)が日本において製造販売する2型糖尿病治療剤「ネシーナ<sup>®</sup>錠 6.25mg、同錠 12.5mg、同錠 25mg」(一般名:アログリプチン安息香酸塩錠)、「リオベル<sup>®</sup>配合錠HD、同配合錠LD」(一般名:アログリプチン安息香酸塩/ピオグリタゾン塩酸塩配合錠)、「イニシンク<sup>®</sup>配合錠」(一般名:アログリプチン安息香酸塩/メトホルミン塩酸塩配合錠)、「ザファテック<sup>®</sup>錠 25mg、同錠 50mg、同錠 100mg」(一般名:トレラグリプチンコハク酸塩錠)(合わせて以下、「本件対象製品」)の、日本における販売を帝人ファーマに移管し、特許等の知的財産権実施許諾及び製造販売承認を承継する旨の資産譲渡契約(以下、「本資産譲渡契約」)を武田薬品との間で締結することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

今後、本件対象製品については、製造販売承認の承継に先立ち本資産譲渡契約に定める手続きを行った上、2021年4月1日付で販売移管し、以後は帝人ファーマが販売及び情報提供・収集活動を行います。その後、厚生労働省等への必要なすべての手続きを経て製造販売承認を承継する予定です。

## 1. 販売移管及び製造販売承認承継の理由

当社は、企業理念「Quality of Life の向上」を原点に、持続可能な社会の実現に向けて、「環境価値」「安心・安全・防災」「少子高齢化・健康志向」の3つのソリューションを中心とした価値を社会に提供し、「未来の社会を支える会社」になることを目指しています。2020年2月5日には「中期経営計画 2020-2022 ALWAYS EVOLVING」(以下、「中期経営計画」)を公表し、中期経営計画期間を「成長基盤確立期」と位置付けました。中期経営計画では、将来の収益獲得のために育成が必要な事業を「Strategic Focus」、既に収益を上げており、さらなる成長を目指す事業を「Profitable Growth」として位置付け、積極的に投資を進めています。

当社グループにおけるヘルスケア事業では、高齢化最先進国の日本において「少子高齢化・健康志向ソリューション」の提供に取り組んでいます。「Profitable Growth」として位置付ける医薬事業と在宅医療事業の運営を通して築いた研究開発基盤や営業基盤、医療従事者や患者さんへのサービスネットワークを維持・強化することと同時に、「Strategic Focus」と位置付ける、リハビリ・介護や予防・健康増進領域を含む地域密着型の総合ヘルスケアプロバイダーとなることを目指しています。地域包括ケアの支援ツールとしての「バイタルリンク」の展開に加え、訪問看護ステーションを拡充するとともに、予防・健康増進においては、機能性食品事業への進出やアプリ・モニタリングデバイスを活用した生活習慣改善指導等の保険外サービスの提供にも取り組んでいます。また、革新的治療法の創出の強化への取り組みや、当社グループが持つヘルスケア/マテリアル/エンジニアの技術基盤の融合による新事業創出にも着手しています。

本件対象製品は、武田薬品が開発した経口で血糖降下作用をもたらすDPP-4（ジペプチジルペプチダーゼ-4）阻害剤とその配合剤を含む製品群で、国内外で多くの2型糖尿病の患者さんの治療に使用されている医薬品です。一方、当社グループは、高尿酸血症・痛風治療剤フェブリク<sup>®</sup>や睡眠時無呼吸症候群治療機器CPAPの提供等により、生活習慣病における患者さんのQOL向上に努めてきました。「代謝・循環器領域」を注力疾患領域の1つとしている帝人ファーマにおいて、ブランド力のある本件対象製品の承継は、将来の事業拡大のための事業基盤の維持・強化を可能とするものです。また、こうした2型糖尿病治療剤を主要製品としてラインナップに加え、事業基盤を維持・強化することで、疾病治療への取り組みのみならず、当社グループが「Strategic Focus」として手掛ける生活習慣病の予防や重症化予防に貢献するサービスの拡大を加速できると考えています。

上記のような考えのもと、本件対象製品の獲得による製品ポートフォリオ拡充を通じた事業基盤の強化、シナジー創出により、当社グループのヘルスケア事業の一層の成長を目指すことを目的として、本件対象製品の国内における製造販売承認を承継することといたしました。

今後、武田薬品と協力し、引き続き本件対象製品を安定的に患者さんへお届けできるよう、円滑かつ効率的に販売移管及び製造販売承認の承継を実施してまいります。

## 2. 販売移管及び製造販売承認承継の概要

### (1) 本件対象製品

販売名	薬効分類
ネシーナ <sup>®</sup> 錠 6.25m g ネシーナ <sup>®</sup> 錠 12.5m g ネシーナ <sup>®</sup> 錠 25m g	選択的DPP-4阻害剤 (2型糖尿病治療剤)
リオベル <sup>®</sup> 配合錠HD リオベル <sup>®</sup> 配合錠LD	選択的DPP-4阻害剤/チアゾリジン系薬配合錠 (2型糖尿病治療剤)
イニシク <sup>®</sup> 配合錠	選択的DPP-4阻害剤/ビグアナイド系薬配合錠 (2型糖尿病治療剤)
ザファテック <sup>®</sup> 錠 25m g ザファテック <sup>®</sup> 錠 50m g ザファテック <sup>®</sup> 錠 100m g	持続性選択的DPP-4阻害剤 (2型糖尿病治療剤)

### (2) 本件対象製品の経営成績

本件対象製品の売上高合計は約 308 億円(2020年3月期における日本国内における売上高)となっております。

### (3) 本件対象製品における資産の項目

本件対象製品に係る棚卸資産に加え、日本における販売移管、特許等の知的財産権実施許諾及び製造販売承認等の無形固定資産等を予定しております。

(4) 承継価額

本件対象製品の承継価額は1,330億円（棚卸資産を含み、承継時の棚卸資産金額により調整）を予定しております。

3. 販売移管及び製造販売承認承継先の概要

(1) 名称	帝人ファーマ株式会社		
(2) 所在地	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 渡辺 一郎		
(4) 事業内容	医薬品・医療機器の研究開発、製造、販売		
(5) 資本金	100億円		
(6) 設立年月日	2002年4月15日		
(7) 大株主及び持株比率	帝人株式会社		100%
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社は当該会社の株式を100%保有しています。	
	人的関係	当社従業員3名が当該会社の代表取締役社長、取締役及び監査役を兼任しており、これら以外の当社従業員が当該会社へ出向しています。	
	取引関係	当社は、当該会社との間に、知的財産契約、資金貸借等の取引関係があります。	
	関連当事者への該当状況	当該会社は当社の連結子会社に該当します。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
純資産	42,991百万円	50,255百万円	52,507百万円
総資産	112,117百万円	111,734百万円	102,364百万円
売上高	125,410百万円	124,196百万円	119,366百万円
営業利益	13,037百万円	14,324百万円	16,511百万円
経常利益	13,559百万円	14,600百万円	17,135百万円
当期純利益	10,268百万円	14,199百万円	12,477百万円

4. 相手先の概要

(1) 名称	武田薬品工業株式会社		
(2) 所在地	大阪府大阪市中央区道修町四丁目1番1号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長CEO クリストフ・ウェバー		
(4) 事業内容	医薬品等の研究開発・製造・販売・輸出入		
(5) 資本金 (2020年9月30日現在)	1兆6,681億円		
(6) 設立年月日	1925年1月12日		
(7) 大株主及び持株比率 (2020年9月30日現在)	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	9.02%	
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	5.53%	
	THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DEPOSITARY RECEIPT HOLDERS (常任代理人 株式会社三井住友銀行)	4.94%	

	日本生命保険相互会社 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	2.24%	
	J P M O R G A N C H A S E B A N K 385632 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	2.24%	
	株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	2.20%	
	S S B T C C L I E N T O M N I B U S A C C O U N T (常任代理人 香港上海銀行東京支店カストディ業務部)	1.59%	
	J P M O R G A N C H A S E B A N K 385781 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	1.54%	
	S T A T E S T R E E T B A N K W E S T C L I E N T - T R E A T Y 505234 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	1.52%	
	S T A T E S T R E E T B A N K A N D T R U S T C O M P A N Y 505001 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	1.30%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	当社連結子会社の帝人ファーマは、当該会社の連結子会社である武田ファーマシューティカルズUSA Inc. との間で、痛風・高尿酸血症治療剤であるULORIC®の米国における販売契約を締結しております。また、帝人ファーマは、当該会社と医薬品原材料について取引実績があります。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
資本合計	2,017,409百万円	5,185,991百万円	4,727,486百万円
資産合計	4,106,463百万円	13,792,773百万円	12,821,094百万円
売上収益	1,770,531百万円	2,097,224百万円	3,291,188百万円
営業利益	241,789百万円	237,685百万円	100,408百万円
当期利益	186,708百万円	135,080百万円	44,290百万円

## 5. 日程

取締役会決議日	2021年2月26日(本日)
本資産譲渡契約締結日	2021年2月26日(本日)
販売移管実行日	2021年4月1日(予定)
製造販売承認の承継日	厚生労働省等への必要な手続きを経て実施予定

## 6. 今後の見通し

販売移管実行日(予定)が翌連結会計年度に該当するため、2021年3月期の当社連結業績への影響はありません。本件による業績への影響につきましては、翌会計年度より反映させる予定です。

以上